

松前の 防災力

危機管理係 ☎ 985-4103

これだけは枕元に置いておきたい 防災グッズ5品目

災害はいつ起こるか分からない 寝ているときも安心できる準備を

災害は昼間に発生するとは限りません。寝ているときに災害が起こっても慌てず避難ができるようにするためには、日ごろから備えておくことが大切です。

そこで、今回は「枕元に置いておきたい防災グッズ」を5つ紹介します。

◆スニーカーと靴下

災害が起こると、さまざまなものが散乱し、屋内屋外は関係なく危険なものが転がっています。そのため、足を守るためのものとして、スニーカーは必須です。

裸足でスニーカーを履くこととならないよう、靴下も忘れずに準備しておきましょう。



◆ヘッドライト

夜に災害が起こって停電してしまうと、真っ暗で何も見えない状況が続きます。明かりとして懐中電灯などを用意している人も多いと思いますが、避難するときに片手がふさがっていると、不便に感じることも多くなります。



準備しておくライトは、ヘッドライトや首から下げるライトなど、両手を自由に使うことができるものがおすすめです。



※写真は、見えやすいよう5品目をバラバラに置いています。実際に準備するときは、一つの袋にまとめておきましょう。

◆警報ブザー、笛

地震で家から出られなくなってしまったときに、自分の居場所を知らせるものがが必要です。

警報ブザーは、電池式の自動で鳴り続けるものが便利ですが、電池切れの心配もあります。笛なども併せて用意しておく、より安心です。

◆カッパ

カッパは、雨をしのげて防寒着にもなるので、役立つアイテムです。災害時は火災が発生する場合もあるので、耐火性のものだと、より安心です。

◆ラジオ

大きな災害が起こった場合、災害状況など、さまざまな情報を得るために必要となります。

最近では、携帯電話などの情報端末を利用している例も見られます。しかし、電池切れや情報が1カ所に集中して混雑してしまい、十分に機能しない可能性もあります。いろいろな通信機器を利用するようにしましょう。